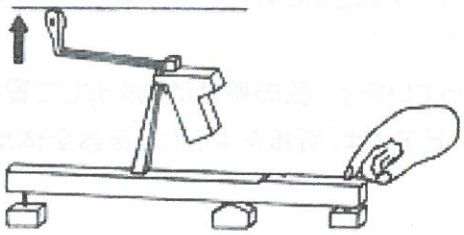
ピアノワークショップ

（ピアノのはてな）2013 年 12 月 29 日

ピアノの原型をつくったクリストフォリ

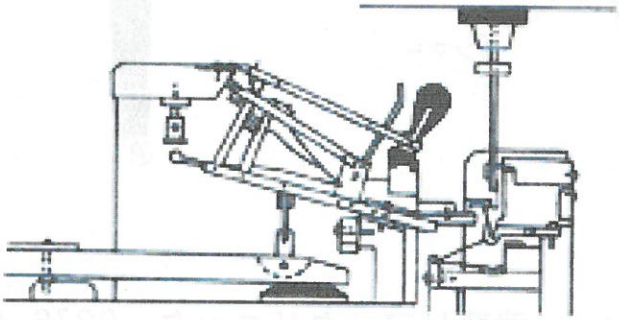
現在のピアノの原型をつくったのは、イタリアのクリストフォリ（1655～1731）でした。
クリストフォリは、チェンバロの音が強弱の変化に乏しいことを不満に思い、1709 年、爪で弦をはじいて鳴らす代わりにハンマー仕掛けで弦を打って鳴らすという、現在のピアノにつながるメカニズムを発明しました。
彼はこのメカニズムを備えた楽器を“クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテ”（弱音も強音も出せるチェンバロ）と名付けました。 この名前を短くつめて、現在は“ピアノ”と呼ばれているわけです。

クリストフォリのアクション・メカニズム



クリストフォリのピアノフォルテ

素早い連打ができるようになった！

19 世紀にピアノ工業はめざましい進歩発達をとげ、需要の増大とともに量産に向かっていきます。また演奏法の発達にともない、タッチの面でもピアノに対する要求は大きくなっていきました。ピアニストたちが、素早い連打やトリルなどの装飾音、速いパッセージの連続などで技を競うようになると、ピアノのアクションにも、より敏感なものが要求されるようになりました。 この要求に応えて素早い連打を可能にする画期的なアクションが、1821 年、フランスのピエール・エラールによって発明されました。

エラールのダブルエスケープメントアクション